



「運動会準備と北条一本締め！」

ひとつ大きな行事が終わりました……おつかれさま！



昨日

真夏日の日差しの中、運動会の準備をしました。

体育館にブルーシートを敷いたり、駐車場を綺麗に掃いたり、退場門を設置したり、トラックにロープを張ったり、外のトイレを掃除したり、それぞれ分担して3年生が一生懸命に作業を行いました。

グラウンドで男子が円陣を組んで大きな声を出しています、かけ声を合わせて、みんなでテントを担いで運びます。神輿を担ぐときのかけ声です！新型コロナ流行の前は、運動会の準備の時に必ず見られた光景です！重い物を動かすときに地元の神輿の木遣りやかけ声を楽しそうに掛け合って運びます。新型コロナで運動会が中断されて以降、その光景を見ることがなくなりました。久しぶりに城山3年生の神輿のパフォーマンスを見ました。城山中学校の3年生のDNAがまた復活して、とてもうれしい気持ちになりました。3年生が木遣りを歌って物を運ぶのを見て、昔の卒業生の顔が浮かんできました。

新型コロナで封印されていた、地域のお祭りも復活したんだなと思いました。町全体が新型コロナの前に戻っているんだという大きな波を感じました。

準備がすべて終わって、朝礼台の前に学年全員で整列しました。みんなで協力して準備ができた充実感がみんなの表情に表れていました。運動会実行委員長の小川宇波さんが挨拶をして最後はお祭りの時の北条一本締めで締めました。グラウンドに「チャ、チャ、チャン、チャ、チャ、チャン、チャ、チャ、チャン、チャン」と3年生全員の心の入った手拍子が響きました。空は青く海のように澄み渡っていました。

3年生がんばりました。おつかれさま。